

# 大谷大学公開講演会

## Be Real 真実と現実 —私と「歴史」—

日ごろ大学では歴史、なかでも日本の近世（織豊政権以降、幕末明治維新）を守備範囲として学生と一緒に学んでいる。最近では「君にとって歴史とは」と問い尋ねることも少なくなったが、でもやはり、「君は何故ここにいるのか」と同じくらいのっぴきならぬ問題と言えると思う。  
ところで、歴史を学ぶのに不可欠なのが「史料」である。近世史料には、未だ活字化されていない文書史料が沢山残っている。それは未だ紐解かれぬ「歴史」がよこたわっていることを意味している。私にとって「歴史」とは何か。未だ解き明かされぬ「歴史」に想いを馳せながら、両者の関係について考えてみたい。



### 講師

ひらの としのり  
**平野 寿則** 氏

大谷大学 教授  
大谷大学 博物館長  
専門/日本近世史・仏教史

### 略歴

1966（昭和41）年 静岡県生まれ  
1990（平成 2）年 大谷大学文学部卒業（史学科）  
1992（平成 4）年 大谷大学大学院修士課程修了  
1997（平成 9）年 大谷大学大学院博士課程満期退学  
2001（平成13）年 大谷大学博士（文学）〈学位取得〉  
2018（平成30）年 大谷大学教授

### 著書・論文

『近世仏教治国論の史料と研究』（共編著・清文堂出版）  
『幕末の東本願寺と東照宮—東本願寺東照宮御霊殿考—』  
（『大谷大学史學論究』第27号）他

2026年

9月1日（火） 14:00～16:00

会場 竹田市城下町交流プラザ  
〒878-0012 大分県竹田市竹田町487-1

対象 同窓生・一般  
主催 大谷大学  
大谷大学同窓会大分支部



事前申込  
不要

どなたさまも  
自由にご参加  
ください

お問い合わせ先 ▶ 大分支部事務局（浄雲寺） 相馬 尚 TEL 097-520-2593